アフリカの真珠
ーウガンダー

ウガンダ共和国大使館後援

アフリカでの携帯電話の登録数はすでに9億5,570万台を超え過去5年間で約1.5倍に成長し、携帯電話を利用したモバイル・バンキング・サービスは今や低所得者が利用し得る金融サービスとして普及しています。コカ・コーラは2020年までの10年間にアフリカに約1,900億円を投資し販売網・生産網の強化を進め、中国工商銀行はアフリカ20か国に1,200ヶ所の支店を持つスタンダード銀行の株式を20%保有し、南アフリカでの再生可能エネルギー事業投資等、多くの案件を共同で進めています。欧米・中国企業にとって既にアフリカは市場なのです。

一方で多くの日本企業にとってアフリカはインドの後の市場といった位置付けであり、実際に進出している企業はまだそれほど多くありません。距離的にも心理的にも日本から遠いアフリカ、当セミナーではそのアフリカ市場の中から「ウガンダ」に焦点を当てます。かつて英国首相のチャーチルに「アフリカの真珠」と呼ばれたウガンダは、ビクトリア湖を擁する緑豊かな国です。若年層を中心に約4,100万人（アフリカ第8位）の人口を有し、2050年には1億人を突破することが見込まれています。また、世界で最も起業家の割合が高く、その数28.1%と1.3%の日本を大きく引き離します。豊富な食糧・水に恵まれ、ケニア・タンザニアを含む東アフリカ共同体の加盟国でもあり、その将来性が見込まれる市場です。

当セミナーでは、駐日ウガンダ共和国大使、及び元アクセンチュア（株）のコンサルタントでウガンダにて人材育成業及び配送業を営む起業家の伊藤淳氏を招き、参加者の以下のような疑問にお答えします。

◎アフリカ及びウガンダにはどのような市場があるのか？
◎法制度、税制等のビジネス環境は整っているのか？
◎進出に当たって、何か特別な配慮は必要か？
◎将来、どのようなビジネスでの成長が見込まれるのか？
◎どのような企業がビジネスを展開しているのか？

日 時：2018年4月18日（水）　受付／15:00～
セミナー／15:30～17:30　レセプション／17:30～18:30

場 所：TKP渋谷カンファレンスセンター 8A

主 催：JCCP M 株式会社

JCCPM